

編 集 後 記

ついに、夏本番！ とは言うもののマスクが息苦しい毎日ですね（個人的には耳の後ろが痛くてつらいです）。1年前には想像すらしなかった、social distancing with maskのまま、本格的な夏を迎えております。神経学会の皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

第7号には7本の症例報告と2本の短報を掲載しました。脳血管疾患、遺伝性疾患、感染症などなど、今号も盛りだくさんの内容になっています。若手の先生方の勉強に、専門医の先生方のブラッシュアップに、ぜひお読み頂ければと思います。

さて、皆様は臨床神経学へはどのようにアクセスしていらっしゃいますか。臨床神経学を閲覧するルートは実は2つあります。1つ目は皆様がよくご存じの神経学会のホームページからアクセスする方法です。神経学会から配信される発行のご案内もこちらへリンクされています。2つ目はJ-STAGEのホームページからアクセスする方法です。J-STAGEは国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルのプラットフォームです。J-STAGEから臨床神経学にアクセスして頂くと、その月の月間アクセスランキングも見ることができます。ランキング上位の論文のラインナップから、頸椎症やめまいの診療に悩まれて

いらっしゃる方が多い？ と、皆様の行動を推測したり、隠れた名著の存在を知ったりなど、いつもと少し違った楽しみ方もできるかと思われまふ。またJ-STAGE版では、第6号からPDFだけでなく、HTML方式での閲覧も可能になりました（事務局の尾上様、ご尽力に感謝いたします）！ 現在、日常生活でのインターネット閲覧の6~7割はスマートフォンやタブレットからなされています。時代のニーズに合わせ、スマホでも見やすい誌面にいたしました。臨床神経学も確実に進化しています。ぜひご活用ください。そして、見やすくなった本誌に、ますますたくさんのご投稿をお待ちしております。

次号第8号は症例報告・短報だけではなく、委員会報告として、「園生雅弘ら、神経内科専門医基本領域化に何が必要か：揺れる専門医制度と基本領域専門医の使命（第60回日本神経学会学術大会 緊急シンポジウム抄録集）」が掲載予定です。ご興味をお持ちの先生方が大変多いことと思います。乞うご期待です！

先のまだまだ見えない日々が続きますが、皆様、くれぐれもお元気で。

（三澤 園子）

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員（幹事兼任） 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第60巻 第7号	2020年7月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>